

平成 25 年 12 月 20 日

各 位

慶應義塾大学メディアセンター
所長 田村 俊作

KEIO 大学図書館国際フォーラム
「大学図書館における冊子体コレクションの将来 ～日本版 Shared Print の可能性～」
の開催について（ご案内）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、標記フォーラムを下記のとおり開催致しますので、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. テーマ： 大学図書館における冊子体コレクションの将来 ～日本版 Shared Print の可能性～

—開催趣旨—

かつては蔵書の規模というものが図書館を評価する上での重要な指標の一つであったことは疑いありませんが、資料電子化の進展や大学において図書館が求められる役割の変化などを背景に、蔵書、特に冊子体コレクションを取り巻く環境にも変化が起っています。電子ジャーナルの登場と誌代高騰により、外国語学術雑誌のカレントの冊子体が書架から消えつつあります。また、書庫狭隘化への対策や新たな利用者サービスのためのスペース確保の必要性から、デジタル代替物のある雑誌タイトルの冊子体を除却する図書館も出てきています。このような状況を大学図書館としてどう受け止めるべきか、従来と異なる冊子体コレクション（プリント）に対する考え方や運用が求められる時代が到来しつつあります。

資料提供の電子中心への切り替えが日本より早く進んでいる米国の研究図書館では、今後の冊子体コレクションのあり方に関する研究、実践が盛んです。最も研究が進んでいるものとして「Shared Print（シェアード・プリント）」という考え方があります。シェアード・プリントとは、資料デジタル化の進展を背景に、複数の図書館が共同で冊子体コレクションの保存・管理・利用のしくみの構築を行う取り組みで、米国では数多くの実践プロジェクトが進行しています。

今回、OCLC の一組織であり、欧米を中心とする研究図書館に共通する課題を研究するために設けられた OCLC Research Library Partnership の協力を得て、OCLC におけるこの分野の第一人者、およびシェアード・プリントを実践している研究図書館から担当者をお招きし、北米の現状や実践から得た知見についての報告、そして日本の関係者とディスカッションを行う場を設けるべく、今回のフォーラムを企画しました。これからの冊子体コレクションのあり方について、特に今回はブック（単行書）の扱いも焦点の一つとして、考察を深める機会にしたいと考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

2. 期 日： 平成 26 年 2 月 28 日(金) 13:00 ～ 17:00

3. 定 員： 100 名（先着） ※ 参加費は無料です。

4. 会 場： 慶應義塾大学 三田キャンパス・東館 6 階 G-SEC Lab
アクセス：<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>
(キャンパスマップ中の 3 番の建物になります。)

5. 主 催： 慶應義塾大学メディアセンター （協力：OCLC Research Library Partnership）

6. プログラム :

- * 受付 12 : 30～13 : 00
- * ご挨拶・趣旨説明 13 : 00～13 : 10

【第1部】講演

* 基調講演	13 : 10～14 : 00
OCLC Research, Program Officer	コンスタンス・マルパス氏
* 米国・事例報告	14 : 00～14 : 50
California Digital Library, Manager of Shared Print & Western Regional Storage Trust, Project Manager	エミリー・スタンボー氏
* 日本・状況報告	14 : 50～15 : 20
筑波大学附属図書館副館長	加藤 信哉氏

- * 休憩 15 : 20～15 : 35

【第2部】パネルディスカッション

* パネルディスカッション	15 : 35～16 : 50	
パネリスト	OCLC Research, Program Officer California Digital Library, Manager of Shared Print 筑波大学附属図書館副館長 (コーディネータ) 慶應義塾大学メディアセンター所長	コンスタンス・マルパス氏 エミリー・スタンボー氏 加藤 信哉氏 田村 俊作

- * 閉会のご挨拶 16 : 50
- * 終了 17 : 00

※当日は日英による同時通訳を行います。

※コンスタンス・マルパス氏、エミリー・スタンボー氏について別紙にて紹介します。

■以下のサイトにも開催案内を掲載しております。追加情報は随時更新します。

<http://www.lib.keio.ac.jp/jp/sharedprint/>

7. 参加申込み :

次の情報を記載いただき、以下のアドレスまでメールでお申込みください。

・氏名、ご所属、ご担当業務／役職等

※メールの件名は「フォーラム申込み」としてください。

お申込み先アドレス : forum-jimukyoku@lib.keio.ac.jp

事務局担当 : 慶應義塾大学メディアセンター本部 関、島田

03-5427-1861(直通)

以 上

(別紙)

海外招聘講師のご紹介

コンスタンス・マルパス氏 (Constance Malpas)

Program Officer, OCLC Research

コンスタンス・マルパス氏は、米国 OCLC の研究部門 OCLC Research において研究に従事しています。特に科学分野における知識形成、研究実践に関心が高く、これまで多くの研究成果を発表しています。現在では、mass digitization (蔵書の大規模デジタル化) と collective collection (複数図書館による共同コレクション構築) を主たる研究トピックとして、広域的な範囲での冊子体コレクションの変容に関わる共同プロジェクトを評価しその成果を高める活動を行っています。

OCLC のマルパス氏紹介ページ : <http://www.oclc.org/research/people/malpas.html>

・研究成果の紹介 :

“Cloud Library: Cloud-sourcing Shared Research Collections” (2011)

(<http://www.oclc.org/research/activities/sharedcollections.html>)

“Print Management at “Mega-scale”: a Regional Perspective on Print Book Collections in North America” (2012)

(<http://oclc.org/research/activities/megascale.html>)

エミリー・スタンボー氏 (Emily Stambaugh)

Shared Print Manager, California Digital Library (CDL)

& Program Manager, Western Regional Storage Trust (WEST)

エミリー・スタンボー氏は、CDL (California Digital Library) と WEST (Western Regional Storage Trust) という米国西部地区における 2 つのシェアード・プリント活動のマネージャーを務めています。CDL では“シェアード・プリント・マネージャー”として、カリフォルニア大学の 10 あるキャンパス間での共同冊子体コレクションの構築と管理に関する計画立案や運営面でのコーディネートを担当しています。一方、WEST では“プログラム・マネージャー”として、シェアード・プリントの計画立案、評価、ビジネスモデルの開発とコレクション構築、参加館メンバーとの調整において主導的な役割を担っています (WEST は、米国西部地区で 100 以上の研究図書館が参加している冊子体の学術雑誌に関するシェアード・プリントの取り組みです)。

スタンボー氏は、米国ではシェアード・プリントのマネージメントの実務家として知られており、シェアード・プリントに関する助言やコンサルテーションを行うほか、講演の経験も豊富です。

CDL Shared Print : <http://www.cdlib.org/services/collections/sharedprint/>

WEST : <http://www.cdlib.org/services/west/>

・スタンボー氏が 2013 年 10 月に OCLC のイベント “Getting off the Island: Collaborating to Create Boundless Collections” において、“Curating Collective Collections: Reinventing Shared Print” という演題で講演した際の記録が以下で見られます。

http://www.oclc.org/en-US/events/2013/CollectiveInsightSeries/CollectiveInsight_LA_Region_131015.html

以上